



↑ 1 錦木保育園児は元気よく太鼓を演奏しました 2 毛馬内保育園児はかっこいい衣装で踊りを披露しました 3 毎年恒例の菓子まきには大勢の人が集まりました 4 けんこう広場ではクイズを楽しむ参加者で賑わいました。

まちの話題 CITY TOPICS

かづの元気フェスタ 会場に笑顔あふれる

「かづの元気フェスタ」が9月17日、市役所周辺の特設会場で開催されました。

会場には、親子連れなどおよそ1万人が訪れ、秋の味覚やイベントを満喫しました。会場はジャンルごとに8つの広場に分けられました。

催し物広場特設ステージでは、毛馬内保育園・

錦木保育園の園児による遊戯の発表や、民謡・民舞ショーなどが行われ、会場を盛り上げました。

人・ものの交流広場で開かれた模擬上棟式では、恒例の「菓子まき」が行われ、来場者は歓声をあげながら菓子に手を伸ばしていました。

このほか、健康広場での献血や骨密度測定、食の広場ではかづの牛の焼肉コーナーなど、さまざまな催しに会場は大いに賑わいました。



↑ 保育園児の余興や、大館曲げわっぱ太鼓の演奏に、参加者は歓声とともにたくさん拍手を送っていました。

鹿角市敬老会 長寿をともに 祝いあう

8月29日～31日に鹿角市敬老会が文化の杜交流館コモッセで開催され、市内75歳以上の方6566人のう

ち1341人が参加し、互いに長寿を祝いあいました。児玉市長は「健康寿命を何より大切にして、これからも元気でお過ごしください」とあいさつし、健康長寿表彰や米寿祝いの贈呈などが行われました。祝賀公演では、保育園児の余興や大館曲げわっぱ太鼓の演奏などが行われ、参加者は笑顔で楽しいひと時を過ごしていました。

ねんりんピック&タートルマラソン
マラソンで健康づくり

9月10日、本市総合競技場で「ねんりんピック」マラソン競技が、例年体育の日に開催している「かづのタートルマラソン」とあわせて行われ、多くの市民が全国から集まった選手とともに汗を流しました。

全国健康福祉祭（ねんりんピック）は、60歳以上の人たちの健康づくりや社会参加を目的としており、今年

年は秋田県で開催され、本市ではマラソン競技が行われることとなりました。

この日は早朝に激しい雨が降り開催が危ぶまれましたが、いざ競技開始の時間になると雨もやみ、選手らは年齢を感じさせない走り

で会場を沸かせ、またタートルマラソン参加者とともに笑顔でコースを回り、スポーツの秋を満喫しました。



↑ 参加者は日ごろの体力づくりの成果を発揮し、笑顔でコースを走り抜けました。(写真中央 No.518 の選手は本市出場選手の安保隆二さん)

行政インフォメーション

2017 全国ジュニアサマーノルディックスキー大会 IN 鹿角 兼 (公財) 全日本スキー連盟 A 級公認 2017 鹿角サマージャンプ・コンバインド大会

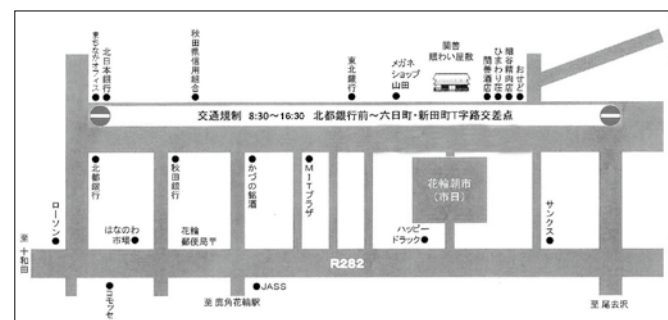
本格的なスキーシーズンの前哨戦となる本大会が今年も開催されます。地元選手をはじめ、これまで世界で活躍している選手も多数出場する大会です。来年2月に開催される平昌オリンピックを間近に控え、国内での戦いにも注目度が増えています。この機会に足を運んでみませんか。



10月14日(土)は交通規制が行われます

▶時間 8時30分～16時30分

▶場所 北都銀行前～六日町・新田町T字路間



熊に注意してください 県内全域に熊出没警報発令中

市内でのツキノワグマ目撃件数は例年を大きく上回っており、熊による人身事故も2件発生しています。他市町村でも出没が多発しており、10月31日まで県内全域に「ツキノワグマ出没に関する警報」が発令中です。お出かけの際は熊との遭遇に一層注意してください。

▶ツキノワグマによる事故を防止するために

きのこ採りや登山、レジャーなど野外で活動するときは、どこで熊が出てもおかしくないと思って行動し、熊の出没情報がある地域への入山は控えてください。

また、熊による人身事故は、その多くが午前中に発生しています。特に早朝の作業の際には周囲の状況に注意し、できるだけ複数人で行動を心がけてください。

▶人里に熊を近づけないために

熊を誘引する廃棄作物や生ごみを野外に放置しないようにするほか、敷地や道路などの周囲を刈り払うことで見通しがよくなり、熊が近づきにくい環境を作ることができます。集落に熊を寄せ付けず、熊と出会わないようにするため、一人ひとりができる対策へのご協力をお願いします。

問 農林課 農地林務班 ☎ 30-0246

無理をせず安全第一に

きのこ採りの遭難に注意しましょう

毎年、遭難する人が後を絶ちません。“毎年山に入っているから大丈夫”という油断は厳禁です。次のことを心がけて、遭難事故を防ぎましょう。

きのこ採り心得 5カ条

- ① 入山は、家族に場所と帰宅予定時刻を告げてから!
- ② 入山前に自分の位置を確認し、目標物を定めて!
- ③ 時間を決め、早めに下山する!
- ④ 単独行動はできるだけ避ける!
- ⑤ マナーを守りゴミは必ず持ち帰る!

◀携帯用品

- ①笛 ②発炎筒 ③防寒具 ④ライター ⑤携帯電話 ⑥常備薬 ⑦非常食 ⑧白いタオル(上空から見て最も目立つ色は白色です)

▶もし迷ってしまったら

必ず誰かが迎えに行きます。動かずに体力を温存し、明るくなったら見通しの良い高い所で救助を待ちましょう。防災ヘリ「なまはげ」や県警ヘリ「やまどり」が出動します。(気が付いたら白いタオルを振って位置を知らせましょう) 携帯電話から110番または119番をすることで、位置の特定につながります。

問 総務課 危機管理室 ☎ 30-0299